都知事表彰の受賞

令和2年度「東京都青少年健全育成功労者等表彰」が、昨年11月9日（月）東京都庁第一庁舎5階大会議室において行われました。この表彰は、その行動が他の模範と認められる青少年団体及び個人を対象として行われるもので、本年度は模範青少年団体に府中交通少年団と志村交通少年団が選ばれ、青少年育成協力者には麹町交通少年団の谷島団長、八王子交通少年団の津久井団長、城東交通少年団の長澤団長の3名が選ばれました。

これまでは受賞者全員がひとりに都知事から感謝状が手渡されていましたが、今年はコロナ禍にあることから、府中交通少年団の山賀団長が代表して受賞式に出席されました。

今回、受賞された交通少年団及び団長の皆さんは、平素から交通少年団活動に並々ならぬ熱意を持って取り組んでこられ、その献身的な活動がこのたび認められたものです。東京交通少年団では、その真摯な取り組みに敬意を表するとともに、心からお祝い申し上げます。なお、当協会のホームページには今回受賞された団長各位からのメッセージを登載しております。

麹町　谷島団長

八王子　津久井団長

府中　山賀団長

城東　長澤団長

志村　山上団長

「叙勲及び褒賞」受賞者に感謝状の贈呈

おめでとうございます

「旭日双光章」を受章　谷井副会長
「藍綬褒章」を受章　髙野（こうの）副会長

令和2年秋の叙勲において、日野交通安全協会長の谷井正剛会長が「旭日双光章」を受章され、中野交通安全協会の髙野允雄会長が「藍綬褒章」を受章されました。

当協会では、昨年11月17日（火）、長年にわたり交通安全思想の普及啓発活動に貢献された当協会の副会長でもある両氏に対して、吉森理事長から東京都交通安全協会会長の感謝状が贈呈されました。

感謝状を受ける谷井正剛副会長

感謝状を受ける髙野允雄副会長

前列　右から吉森理事長、谷井東安協副会長（日野）、髙野東安協副会長（中野）、吉田常務理事
後列　右から八木橋総務部長、新田安全対策部長

地域安協めぐり

第42回　大森

大森警察署の管轄エリアは大田区の東北部で、東西5・5キロメートル、南北に3・8キロメートル、面積9・86平方キロメートルは警視庁で47番目の広さです。

管内の世帯数は約8万1千世帯（警視庁で45番目）、人口は約14万4千人（警視庁で48番目）となっています。

大森警察署の歴史を顧みますと、大正7年8月1日に品川警察署大森分室として開設されましたが、4年後の大正11年9月1日には大森警察署として独立しました。

現在、大田区には大森署を含め5つの警察署（蒲田署、田園調布署、池上署、東京空港署）が区内の治安維持があたっていますが、当時は大森署が大田区全域を担当していました。

管内は、東海道本線、京浜東北線を境に、東側は平たんな商工業地、中心部は一般共住住宅街、商店街は大森駅周辺の池上通り商店街、西側は山王地区の高級住宅街となっております。

また、埋め立ての人工島（平和島）[昭和島]京浜島）には、流通センターやトラックターミナルが建ち並び約250棟の倉庫や鉄工団地で形成されています。

交通機関は、JR京浜東北線、京浜急行線、東京モノレールが南北に走り、幹線道路は南北に第一京浜、産業道路、湾岸道路が、東西には環状七号線が首都の大動脈として多くの人や物資を運んでいます。

大森交通安全協会は、終戦まもない昭和23年4月1日に発足しました。発足当時は、戦火により道路や信号機等の交通施設が焼失し、敗戦による世情不安が続く中でしたが、戦後の復興が進むにつれて一般車両が増え、それが交通事故の増加に拍車をかけました。

子供や高齢者が犠牲となる交通死事故の増加は誠に憂慮すべき事態で、1日も早く交通秩序を確立し、地域住民が安心して平和に暮らける道路交通環境の整備（安全で平和、豊かな街づくり）が、大森交通安全協会の活動の原点となりました。

以来、激動する時代の変化に対応しながら、交通安全思想の普及・浸透を図り、大田区民に交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を呼びかけてまいりました。

昨年、秋の全国交通安全運動期間中には、各小学校を管轄する町会長様の協力を得て、校門に隣接する交差点において、町会及び交通安全協会の各部会員延べ300人のご協力を得て、警察官と一緒に街頭配置を行い登校児童の保護誘導活動を実施しました。

さらに、コロナ禍にある子供たちを励ましそうと、間隔を空けて、感染防止を図りながら「おはようございます、いってらっしゃい」の声かけを実施しました。

昨年は、警視庁が掲げるチャレンジロード25の達成を目指し、様々な交通事故防止対策を計画しましたが、残念ながらコロナ禍で中止の連続でした。

そのため、コロナ禍でも実施できる活動はないか、管内2と模索した結果が、管内260の事業者の運転者を対象とした学科試験と高齢者を対象とした町会対抗年齢別学科試験（60歳以上、70歳以上、80歳以上）の実施でした。

交通少年団員についても、東京都交通安全協会から送られてきた学年別自転車学科試験を自宅にがいて実施してもらいました。

町会、事業所、交通少年団の各成績優秀には、それぞれ大森警察署長・大森交通安全協会長特別賞が授与されました。

次に大森交通安全協会の各部会を紹介しますと、安全運転管理者部会は、事業所に対する巡回指導をはじめ各種研修会の開催等に尽力し、安全運転管理者講習では46年連続100%達成という都内トップの大記録を更新中であります。

この偉業の陰には、安管役員と大森署員の並々ならぬ苦労と奮闘があることを付け加えておきます。

青年部会は、60歳以下の会社役員や従業員等で構成された部会で、各種キャンペーンやイベントを行う際にはかかせない存在です。

特に、池上通りバス路線における自転車キャンペーンや美原通りに設での交通安全教育等ではイベントを盛り上げ、大いに存在感を発揮しています。

女性部会は、部会長以下20名で構成されていますが、管内の高齢者施設を訪問し、あるいは「大森交通安全のつどい」にも参加して、指人形による交通安全教育を行っています。

毎年、東京都交通安全協会が主催する指人形教室や発表会にも、部会長以下の会員と事務局が参加して技能向上に努めています。

大森交通少年団は、昭和47年9月23日結成され、現在約60名の団員が活動しています。昨年1月に行われた第2方面交通安全協会の統一行事（ボーリング大会）では、2年連続団体優勝を果たし団結力を証明しました。

結びに、昨年はコロナ禍の影響を受け各種交通安全活動が制限され、大森交通安全協会としては厳しい本意な一年となりました。

新型コロナウイルスの感染拡大が収束したならば、これまで同様、大森警察署のご指導を賜りながら管内の交通事故防止に貢献したいと考えております。

大森交通安全協会では井上会長以下会員一同、一刻も早い新型コロナウイルス感染症の終息と、1年延期となった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の無事開催を、心より祈念いたしております。

大森警察署長から特別賞を授与される交通少年団員

大森交通安全協会 女性部会

自転車安全利用講習会の開催

都内の自転車事故は交通事故全体の約4割を占め、全国平均より1割以上も高いことから、「自転車安全利用五則」の周知徹底が求められています。

そのため、当協会では警視庁と協力して、自転車安全利用を推進する指導員の養成講習を交通安全教育センターにおいて実施しました。

【自転車安全利用指導員養成講習（10月19日）】

この講習は、正しい自転車の乗り方を教える指導者の養成を目的として、平成16年から始まったもので、各年2回春と秋に開催され、今回で37回目となりました。

講習会は、はじめに、当協会の新田安全対策部長からあいさつがあり、その後、参加者らは速、自動車教習コース、移動して、自転車の点検・整備要領の指導を受けました。

その後、一人ひとりが間隔を空け、順次、模擬コースを走行し、正しい乗り方の実技指導を受けました。

休憩後の座学では、警視庁交通総務課上矢係長から「都内の自転車事故の概要」についての説明を受け、保全在庁からは「自転車事故に遭わないための安全対策」について講義を受けました。今回はコロナ禍であるとから参加者を通常の半数（22名）に抑え、感染防止に配意しての開催となりました。

参加者は、今後、公道や自転車実技教室等において、自転車の正しい乗り方を指導することとなる。

【自転車安全利用管理者講習（モデル企業・学校）（11月18日）】

この講習は、通勤、通学や企業活動に自転車を利用している企業や高校の中から、地元警察が他の模範となるモデル企業・モデル高校として指定したもので、企業・高校の安全推進担当者・生徒指導担当教諭を対象としています。

今回の講習には、101社、2高校の中から47社、1高校の担当者94名が参加しました。

講習は感染防止の観点から屋外で行われ、はじめに、警視庁交通総務課上矢係長から「都内の自転車事故の概要」について説明があり、続いて、自転車点検・整備要領の指導を受けました。

休憩を挟んで、後半は、各自が順次模擬コースを走行し、その後、全員で模擬コースを回り、交通総務課中村係員から交差点での横断方法や駐車車両の側方通過時の安全確認など、危険個所での走行要領についての指導を受けました。

参加者には指導員証が交付され、自転車安全教室での指導にも従事していただくこととなります。

警視庁安全教育センターにて

謹賀新年

一般財団法人
東京都交通安全協会
会長　今井　敬

会長代行　福島和夫
副会長　島田益吉
副会長　谷井正剛
副会長　及川市治
副会長　髙野允雄（こうの）
相談役　村田利夫
相談役　西野　博
相談役　篠　利雄
相談役　飯塚隆雄
相談役　山本　昇
相談役　中村一雄
理事長　吉森裕次
常務理事　吉田公己

地域交通安全協会長

麹町　深尾一郎
丸の内　島田正朗
神田　鶴野正勝
万世橋　齋藤雅夫
中央　大島　博
久松　酒井英彦
築地　林　正道
月島　山本晴保
宮　松坂　洋
三田　長井純一
高輪　古屋公啓
麻布　酒巻勝行
赤坂　土橋武雄
東京湾岸　日下栄作
大島　福本長文
新島　前田芳徳
三宅島　井澤幸男
八丈島　平井一弘
小笠原　岡本良一
品川　小野正彦
大井　阿部英勝
大崎　天野智義
荏原　鈴木征雄
大森　井上雅雄
田園調布　森井郁夫
蒲田　坂本幸政
池上　森田光隆
東京空港　徳武大介
世田谷　保田平
北沢　吉良公彦
玉川　大原紘子
成城　島田益吉
目黒　黒沼共栄
碑文谷　谷村基久男
渋谷　新居常男
葛飾　入江生夫
原宿　細井ひろ子
代々木　花香信義
葛西　西野　博
牛込　平尾博恵
新宿　髙野吉太郎
戸塚　村山正治
四谷　飯塚隆雄
中野　髙野允雄
杉並　村澤儀雄
高井戸　飯田勇一
荻窪　五十嵐良夫
富坂　青柳保之
大塚　酒井淺吉
本富士　深澤壽一
駒込　鳥山金一郎
巣鴨　伊藤勝利
袋山　本昇
池袋　井澤幸男
目白　織本真一郎
上野　小林　晋
下谷　今村輝男
浅草　石渡充
前堀　井　修
尾久　三橋淳志
滝野川　武士裕三
王子　木原光資
赤羽　恩田俊信
板橋　川上彰
志村　坂本大太郎
練馬　篠　利雄
光が丘　榎本優
石神井　高橋敏雄
亀有　石井博
飾入　江生夫
小松川　芦田昭八
西西野　博
小岩　髙橋清一
昭島　及川市治
立川国立　金丸清泰
東大和　石井正信
府中　小牧務
小金井　信山勝由
田無　村田利夫
小平　吉江昌生
東村山　山田修
武蔵野　山崎正貴
三鷹　石井義之
調布　大槻智子
青梅　岩浪岳史
五日市　藤谷弘司
福生　天野博
八王子　菅原健司
高尾　小松政見
南大沢　田中泰慶
町田　村松稠敏
日野　谷井正剛
多摩稲城　千田拓雄
竹の塚　福本勝由
西新井　安田敏明
千住　樽澤正人
荒川　大谷宏之
南千住　吉見圭一
大森　森井上雅雄
西新井　徳武大介
上野　小林　晋
下谷　今村輝男
浅草　石渡充
前堀　井　修
尾久　三橋淳志
滝野川　武士裕三
王子　木原光資
赤羽　恩田俊信
板橋　川上彰
志村　坂本大太郎
練馬　篠　利雄
光が丘　榎本優
石神井　高橋敏雄
亀有　石井博
飾入　江生夫
小松川　芦田昭八
西西野　博
小岩　髙橋清一
昭島　及川市治
立川国立　金丸清泰
東大和　石井正信
府中　小牧務
小金井　信山勝由
田無　村田利夫
小平　吉江昌生
東村山　山田修
武蔵野　山崎正貴
三鷹　石井義之
調布　大槻智子
青梅　岩浪岳史
五日市　藤谷弘司
福生　天野博
八王子　菅原健司
高尾　小松政見
南大沢　田中泰慶
町田　村松稠敏
日野　谷井正剛
多摩稲城　千田拓雄
竹の塚　福本勝由
西新井　安田敏明
千住　樽澤正人
荒川　大谷宏之
南千住　吉見圭一
大森　森井上雅雄
西新井　徳武大介
上野　小林　晋
下谷　今村輝男
浅草　石渡充
前堀　井　修
尾久　三橋淳志
滝野川　武士裕三
王子　木原光資
赤羽　恩田俊信
板橋　川上彰
志村　坂本大太郎
練馬　篠　利雄
光が丘　榎本優
石神井　高橋敏雄

賛助会員

一般社団法人　東京ハイヤー・タクシー協会
一般社団法人　東京指定自動車教習所協会
一般社団法人　東京バス協会
株式会社　東急百貨店
株式会社　京王百貨店
株式会社　小松ストアー
東京都青果物商業協同組合
キッコーマン株式会社
東京本社
日本製鉄株式会社
株式会社　ヤナセ
一般社団法人　東京母の会連合会
公益財団法人　日本道路交通情報センター
公益財団法人　東京タクシーセンター
株式会社　伊藤園
佐川急便株式会社
株式会社　東京印刷
ポッカサッポロフード＆ビバレッジ株式会社
東京ガス株式会社
株式会社　丸正飯塚
明治安田生命保険相互会社
株式会社　セレモア
株式会社　セブン＆アイ・ホールディングス
大同通信工業株式会社
一般財団法人　東京都営交通協力会
サンエス技研株式会社
ヤマト運輸株式会社東京支社
ネッツトヨタ多摩株式会社
高杉商事株式会社
株式会社　伊藤園
株式会社　東京印刷
株式会社　キクテック
株式会社　力匠
日本生命保険相互会社
栄運輸株式会社
株式会社　ROSSO
野村證券株式会社
髙橋　豊
篠　利雄
北村　浩志
一般社団法人　東京都トラック協会
関東交通共済協同組合
本田技研工業株式会社安全運転普及本部
株式会社　小田急百貨店
富士防災株式会社
株式会社　丸正飯塚
明治安田生命保険相互会社
株式会社　セレモア
株式会社　キクテック
株式会社　力匠
日本生命保険相互会社
栄運輸株式会社
株式会社　ROSSO
野村證券株式会社
髙橋　豊
篠　利雄
北村　浩志
株式会社　大成出版社
サントリービバレッジサービス株式会社
日産東京会（日産都内販売会社グループ）
株式会社　小松製作所
株式会社　平成エンタープライズ
株式会社　キクテック
株式会社　力匠
日本生命保険相互会社
栄運輸株式会社
株式会社　ROSSO
野村證券株式会社
髙橋　豊
篠　利雄
北村　浩志
警視庁職員信用組合
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社
社会福祉法人　東京福祉会
日本平版印刷株式会社
株式会社　平成エンタープライズ
株式会社三越伊勢丹ホールディングス
国際自動車株式会社
一般社団法人　東京都個人タクシー協会

（敬称略）